

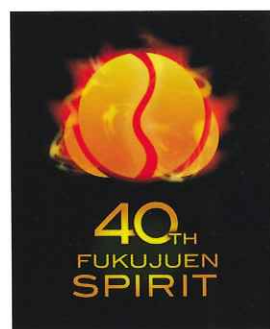


ひまわり



第17回 福祉の絵手紙 最優秀賞受賞作品 安倍 敏子 様

- 2 ▶ 3 田原福寿園建替え竣工神事
本館引越し大作戦
- 4 ▶ 5 田原福寿園〈本館〉施設紹介
- 6 施設長就任あいさつ
第17回 福祉の絵手紙受賞作品決定
- 7 連載④●40周年特別企画
40年前、あの日あの時
連載●マジックワード紹介
- 8 ▶ 9 第10回 利用者満足度調査結果
- 10 連載vol.45●[記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 11 ▶ 14 各施設トピックス
- 15 福寿園ニュース
- 16 連載●外国人介護士
リレーインタビュー
連載●Newひまわりギャラリー
福寿園ゆめ音頭PV、YouTube開設



154号

令和2年11月10日



(左から) 大竹田原市議長、山下田原市長、山田理事長、根本衆議院議員、山本愛知県議会議員

田原福寿園建替え竣工神事

9月22日、特別養護老人ホーム田原福寿園の新しい本館が完成し、現地で竣工神事が行われました。本来ならば、同時に法人創立40周年記念式典及び祝賀会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスによる状況を鑑み、やむを得ず開催を中止いたしました。参加人数を制限させていただき、コロナ対応を図りながら、竣工の神事のみ行うこととしました。当日は、

田原市長 山下政良様、衆議院議員 根本幸典様はじめ関係者約70名が出席し、新しい施設の完成を祝いました。

田原福寿園は昭和59年2月に開設し、当時は愛知県で初めて認知症高齢者の受け入れを行った施設として、NHKから取材を受けるなど高

齢者介護のバイオニアとして35年にわたりその役目を果たしてきました。

新しい施設は今までの福寿園のノウハウを集約し、さらに最新のICTによる入居者の見守りシステム、個室に限りなく近い4人居室等入居者の安全・安心を確保した居住環境を整えました。また感染症・脱臭対策のための低濃度オゾン発生装置を全館設置、停電時自家発電装置などリスクに備えた設備を充実しました。

社会福祉法人福寿園は法人創立40周年を迎えますが、節目の年に新しい本館が生まれました。この施設が地域福祉の拠点として地域の皆様から愛される施設となるようこれからより一層努力していきます。



本館引越し大作戦

一年半の長きに渡る工期を終えて、新たな田原福寿園「本館」が完成の日を迎えました。工事中は目の前で少しずつ建ち上がっていく「我が家」に思いを寄せながら、入居者の皆さんと共に期待に胸躍らせ、今日の日を心待ちにして来ました。

竣工神事を終え、お年寄りを迎える前の数日間は、法人内各施設から大勢の職員が駆け付け、全館の清掃作業やベッドや備品等の移動に汗を流してくれました。

引越し当日となる大安吉日の10月

2日は、風も穏やかな清々しい秋晴れの日和となりました。法人始まって以来の建替え事業であり、人と物とが大移動となるこの日も、ありがたいことに、法人内施設の多くの仲間が応援に出向いてくれました。何よりも100名のお年寄りが安全に、そして、認知症のお年寄りも混乱の



ないようにと、万全を期しての引越し大作戦はスタートしました。送り出しとなる旧館では、慌てないよう一人ひとりに声をかけながら案内し、迎え入れる側の建物では馴染みの職員が出迎えることで、環境の変わった状況の中であっても、戸惑いや混乱が少しでも軽減できるよう配慮し、午前中には特養の皆さん全員が新たな建物へ越すことができました。午後からは、ベッド等の備品移動を終わった後、ショートステイ利用者の引越しとなりました。居室も食堂も、全てがこれまでよりも一回り大きくなった、明るく清潔感漂う新たな住まいでは、お年寄りの歓喜の声が絶

えませんでした。今日の日が事故なくトラブルなく、予定通り安全に引越しことができましたのは、他施設を含めた職員が気持ちをひとつにして、協力しあった賜ではないかと思えます。多くの思い出と共に、36年の歴史を刻んできた旧館は、一つの役割を終え少し寂しそうですが、これから始まる「本館」での新たな生活と出

会いを楽しみにしながら、日常の中で繰り広げられるお年寄りとの楽しい時間の一コマ一コマを、大切に綴っていきたいと思います。



本館

特別養護老人ホーム 田原福寿園 〈本館〉 施設紹介

令和2年10月1日、田原福寿園(本館)が新しい従来型特養として再スタートしました。建物は6階建てとなっており、1階は本部事務所、特養事務所、厨房、洗濯室、2階はショートステイ(25床)、リハビリコーナー、特別浴室、職員食堂があります。3、4階は特養90床(各階45床)で、各階の中央には広々とした食堂ホールと浴室があり、それぞれのフロアで全てが完結する効率的な動線になっています。5階には落ち着いた雰囲気のリウンジがあります。6階の展望フロアでは、田原市の象徴である蔵王山や天氣が良く空気の澄んだ日には富士山を眺めることができます。

エントランスホール

玄関を入ると吹き抜けで、白を基調とした大理石と正面には水盤があり、開放的な雰囲気でお客様をお迎えします。また、喫茶コーナーも設けられており、創始の理念である「ここに来る人に「幸せ」を感じてもらおう施設に」という思いが込められ、喫茶「ハピネス」と名付けられています。

最新機器が導入された厨房

福寿園の食事は直営方式が伝統であり、その原点とも言える田原では1日に3施設、最大750人分の食事を作っています。衛生区域の区別はもちろん、食材の搬入・保管も工夫された動線となっています。また、火を扱う場所にはスポットクーラーが設置され、快適で職員にもやさしい環境となっています。調理された食材は適温配膳ができるように、保温冷車で各フロアへ運ばれます。

プライベートに配慮した居住空間

従来型個室はもちろんですが、多床室も非常に工夫された作りとなっております。4人室という空間でありながら、ぶどうの房のようにそれぞれに間仕切りがあり、必要によっては個別の空間を設けることができます。色合いもピンクを基調とし、温かみのあるゆとりある空間となっています。個室には昇降式の洗面も設置され、利用者一人ひとりに合わせることができます。

見守り支援システム

居室の天井に設置されたセンサーカメラと職員が携帯するスマートフォンを連携させることで入居者の状態を把握するシステムです。起床、離床、転倒・転落の他、呼吸などによる体の微細な動きを検知し通知されます。特に夜間など職員が少ない時間帯での、安心や負担の軽減に繋がります。また、状況が動画で記録



居住～プライベートに配慮した居住空間



本館



エントランスホール(1F)

オゾン発生装置エアネス

居室はもちろん廊下など、施設内約300箇所到低濃度のオゾン発生装置が設置されています。オゾンは消臭効果はもちろん、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの除菌にも効果があるとされています。

職員カフェテリア・HYM

一般的には職員食堂ですが、ボックス席・カウンター席が設けられており、食後もコーヒーやお喋りを楽しみながら

されるので原因究明や適切なケアに役立つことができます。

息つけるカフェテリアとなっています。また、食事以外にも職員が多目的に利用できるスペースです。

災害時等における停電時の対応設備 (自家発電バックアップシステム)

大型自家発電装置の設置により、停電になっても、食事、飲料水の提供から、居住空間の照明やエアコン、エレベーターが一部で使用できます。普段と変わらない生活を約48時間(2日間)送ることができます。



カフェテリアHyM(2F)

就任あいさつ



特別養護老人ホーム
田原福寿園(南館)
施設長 有川 忠司

10月1日より特別養護老人ホーム田原福寿園(南館)の施設長に就任しました有川忠司と申します。

当法人は、今年で創立40周年を迎え、長い間地域の皆様に親しまれてきた田原福寿園(本館)が建て替わり、新しいかたちの従来型特養として再スタートし、それと同時に本館の併設施設であった南館も単独の特養として位置づけられました。その最初の施設長としての重責を感じながらも、法人初のユニット型特養でもある南館、従来型にはないユニット型の特性を活かし利用者一人ひとりに寄り添ったケアに務め、また、併設されている在宅サービスにおいても、これまで通り地域の皆様がここに来て良かったと感じていただけるよう笑顔溢れる施設づくりを職員一同力合わせて参ります。

今後とも何卒ご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

なお、田原福寿園本館は引き続き、施設長の石井好春が担当いたします。

第17回福祉の絵手紙 受賞作品決定

第17回福祉の絵手紙作品募集では、785点もの心あたたまる作品をご応募いただき、ありがとうございます。多数の応募作品の中から厳選なる審査の結果、最優秀賞、理事長賞など、12点の作品が選ばれました。受賞作品は以下のとおりです。その他入選作品は、福寿園ホームページにてご覧いただけます。

例年ですと、各施設文化祭で表彰式を行いました。今年度はコロナウィルスの影響で開催できませんでしたので、書面をもってご案内いたします。

また、今号より受賞作品を表紙に飾らせていただきます。今回は最優秀賞の安倍敏子様の作品「すべての皆の幸せを願って」です。



《最優秀賞》 安倍 敏子様



《優秀賞》
角森 玲子様



《優秀賞》
中山 友紀子様



《優秀賞》
齋藤 文女様



《優秀賞》
眞田 登茂子様



《理事長賞》
山口 裕子様

1980年

40年前、あの日あの時

連載 ⑧

介護現場で生まれたマジックワード100

老人福祉施設のスタッフや入居者の生の声から紡ぎ出された小さな物語の数々

福寿園が発行した書籍『介護現場で生まれたマジックワード100』について、皆様よりお陰様で多くの反響が寄せられました。1ワードずつ感想を添えてご紹介します。



ありがとうございます。ありがとうございます。

特別養護老人ホームで生活する春江さんは、食事の時間以外はベッド上で過ごされています。お一人での時間が長く他の入居者の方とお話しされる機会が少ないのが現状です。そんな春江さんは、オムツを取り換えた後、職員に対して「ありがとうね」と絞り出すような声で言ってくださることがよくあります。私たち職員が、どれほどその言葉をありがたく感じ、嬉しく思い、日々の励みとしているのか、計り知れません。

あるとき、春江さんの「ありがとうね」の言葉に対して、とっさに「ありがとうって伝えてくれて、ありがとだね」と自然に口にしていました。春江さんはじっと私の

方を見つめて、とても嬉しそうに「そんなこと…」とつぶやきました。お互いの心が通い合ったようで、介護する喜びを感じた瞬間でした。これからも、お互いが喜びを感じ合えるように、支援をさせていただきます。穏やかな時間を過ごしていただけのように。

(特別養護老人ホーム・介護職員)

- ・とても温かみを感じました。
- ・一番に残った言葉でした。
- ・私も「ありがとう」という一言に救われることがよくあります。
- ・「ありがとう」こそ老若男女、国籍不問のマジックワードだと思います。

福寿園が生まれた年のできごと

今から40年前の昭和55(1980)年5月、福寿園は創立しました。その年にどんな出来事があったのか、写真とともに振り返ってみましょう。

なめ猫、大ブーム



ツッパリ文化の影響で、暴走族風の衣装を着た猫のキャラクターが大ブームに。キャッチフレーズの「なめんなよ」から「なめ猫」と呼ばれ(正式名称は「全日本暴猫連合 なめんなよ」)、ポスターや文具、ゲームなど、様々な商品が発売されました。初代のなめ猫グッズが発売されたのが1980年。この年だけでグッズの売上は26億円に上ったといえます。特に人気を集めたのが「死ぬまで有効」や「なめられたら無効」と書かれた運転免許証風のプロマイド。当時、交通違反をした若者が免許証の替わりにこのなめ猫免許証を警察官に提示するケースが続出し、警察から発売元へクレームが入るほどでした。



第10回

利用者満足度調査の結果について

第10回 利用者満足度調査 報告書

令和2年10月発行

社会福祉法人福寿園

平成14年に始めたこのアンケートも今年で10回目を迎えることとなりました。今回も特定非営利法人しんしろドリーム荘（愛知県新城市）に委託をして、令和2年1月27日から3月31日まで、郵送調査と訪問聞き取り調査を行いました。コロナ禍でしたが、4,990名に郵送または聞き取りを行って、3,871名の方より回答を頂きました。有効回答率は77・6%と前回を10ポイント以上上回りました。また第1回の回答数が1,367名でしたので、20年前に比べて3倍弱のご意見を集めることができました。ご利用者・ご家族の皆様のご協力に感謝申し上げます。

■心の奥の本音

しんしろドリーム荘の山本拓也代表理事には、毎回全ての施設に聞き取り調査をお願いしていますが、山

本さんに話を聞いてもらえることを心待ちにされている利用者さんも見えますし、またしっかりと利用者へ寄り添って、心の奥の本音を引き出して下さり、私どもにとっては、心が痛い意見もしっかりと文章化して考察を加えて頂いています。毎回事業が増えるに伴いページ数も増えて、今回は583Pの膨大な調査報告書ができあがりました。

■厳しいけど温かい

2年前の調査では、「優しいけど冷たい」に代表されるように職員のコミュニケーションの質が表面的であるとの指摘が最もショックな意見でした。その後、グローバル人材が増えたことも関係しているのかもしれないませんが、「親のように叱ってくれて嬉しい」に代表されるような本音に立ち入ったコミュニケーション、つまりは「厳しいけど温かい」人間同士の心が通う関係作りが芽生えてきている手ごたえを感じました。

■不良なサービスの根絶

一方で、「嫌ならやめてもいいよ」

「オシッコはオムツの中にして」「ナースコールのブザーを押さないで」等々の一部、介護に全く向いていない職員がいること、また同時に再教育の仕組みができていないとの厳しいご指摘がありました。ご家族の要望に職員数が足りないとの指摘が多くありますが、介護人材不足のため不向きな職員も採用せざるをえず、一定数の不適合職員がいることも事実として把握しています。必要な職員を確保するために「来るもの拒



まず」で採用をせざるをえませんが、教育研修システム、就業規則の懲戒規程に基づく自覚の促し等を上手く活用して、不良なサービスを根絶するように日々取り組んでいくことをお約束します。

■話し合いの場を

養護者の2人部屋やユニット型施設が増えるにつれて、利用者同士の人間関係が悪い場合、「今夜もいじめられないかと安心して眠ることができない」というような声が生まれます。職員が毅然とした態度で仲裁

に入ることは勿論ですが、山本さんの指摘の通り、部屋替えをすれば済むと考えずに、利用者の話し合いの場を定期的に作ったり、身元引受人を交えた定期会合を開くなどの仕組みを作っていくことが大切だと思います。

■基本に忠実に

「柵の上がほこりだらけ」「お部屋の隅にほこりがたまっている」「こぼれたご飯がついたままの服を着ている」「目ヤニが拭き取られていない」「マジックテープを外したまま服が返ってくる」



等々、基本中の基本のケアができていないとのこと指摘も多数頂きました。特に特養にあつては、重度化と介護人材不足により入浴・排泄・食事の三大介助を実施するだけで大変な昨今ですが、福寿園は環境整備を加えて四大介助が基本中の基本であると教育してきました。自分たちでできない部分は高齢者雇用、障害者雇用も活用しながら、再度「基本に忠実に」を徹底してまいります。

■新たな気づき

コロナ禍の時代、外出

の機会が減ったことへの不満の声もたくさんありました。一方で「朝ご飯を食べてポーツとして、寝て、それが一番幸せ」「何もないことが幸せ」とお答え頂いた方が何人もあり、「普通」「普段通り」が一番の満足ではないかという新たな気づきも頂くことができました。

■一人ひとりの人間関係を

「職員の名札がついていない」「話口で名乗らない」「ユニットでも（利用者さん同士の）名前がわからない」等の苦情も、一人ひとりの人間関係を作りたいという、人間が本来持つ欲求の現れでないでしょうか。名札や話口で名前を名乗ることはすぐに改善できますので、全施設へ徹底します。また初めて法人のサービスを利用された時などの紹介もきちんと全サービス事業で行います。

■必要とされる大切な仕事

「穏やかな母の表情を見に行くことが楽しみです。本当に感謝しています」「慣れると家よりこの方がいい」「いつも気持ちの良い挨拶、ありがとうございます」等々、数え切れないほどの感謝や励ましの言葉もたくさん頂きました。私どもの仕事は社会に必要とされる大切な仕事であることを、改めて職員一同再確認することもできました。感謝申し上げます。

■この一瞬に

今、福寿園は1,600名の職員が所属し、人材も正規職員、パート職員、高齢者雇用人材、障害者雇用人材、グローバルスタッフと様々です。コロナ禍のため女性の社会進出も増えていきますし、あと数年たてば、福寿園で働きながら子育てをしていく若い世代の職員も、特養の夜勤等に順番に復活してくれるでしょうから、人材に困らない時代が到来するものと思います。しかし私たちの利用者の方々は数年も待つ時間は残されていません。一期一会、今の時間が全てですので、この一瞬にいかにか喜んで頂けるか、この瞬間にどのような素晴らしい思い出を心のアルバムに残して頂けるのか、全職種、全職員がそのことを中心に据えて日々の仕事に携わることをお約束いたします。

■最後に

最後になりますが、第10回利用者満足度調査報告書は、各施設に配布してありますので、ご自由に閲覧して頂き、またご意見、ご要望等につきましては2年に一回でなくても、その都度お気づきの点がございましたら施設長、管理者、相談員等へお知らせ頂けると、大変嬉しく思います。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

連載 45

記録に残したい記憶

「貴重な体験を語り継ぐ」

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。

私は大正10年5月12日に、3人兄弟の次女として豊橋市二川中町で、生まれ育ちました。姉と弟とはとても仲が良く、今でも幼い頃に一緒に過ごしていた様子が思い出されます。豊橋市立高等女学校を卒業し、市内の製糸工場へ勤めに行きました。

数えの23歳の時に、ご縁があって田原町本町の永田家に嫁ぎました。永田家は、大正の半ばからお菓子屋、電気屋を営んできました。義理の父は、寒天ゼリー作り第一人者である鈴木製菓で学び、お菓子屋を始めたそうでお土産用のチョコレートや最中を作っていました。戦中戦後は、



孫と自宅にて



喜寿の祝い(右が本人)

砂糖などの材料が手に入らず、苦労しました。

旧田原ホテル（現在、跡地に田原ゆの里が建設されました）にも、お土産用の最中を卸していました。今思えば、昔から縁のある場所だったのだと思うと、感慨深いものです。

戦後、少しずつ売り上げが下がってきたので、電気屋とお菓子屋を辞め、昭和27年から今の「日米堂もち



永田 正枝
(グループホーム田原ゆの里)

プロフィール

生年月日…大正10年5月12日
兄弟…3人兄弟(2番目)
出身地…愛知県豊橋市
伝えたいこと…今でも餅作りは誰にも負けません!!

だんご店』を始め、「二七の市」という毎月2と7のつく日に開催される市に出店するために、団子を作り始めました。大福や最中も一緒に出していました。朝は4時頃起き、米の粉を練って、全部手作業で300本くらい作っていました。始めた当時の団子は、1本5円で売っていましたよ。夫が昭和29年に他界し、それからは義理の母と一緒に店を切り盛りし、3人の子供を育てながら、休みなく、ほぼ毎日働いてきました。93歳まで店番をしていましたよ。そのお陰で、身体は丈夫で、今でも身体で悪いところはほとんどありません。今でも皆さんが、「日米堂のおばあちゃん、お団子美味しいよー」と、声を掛けてくれるので、嬉しく思っております。長男夫婦へと代は変わりましたが、今も昔と変わらない製造方法で、二七の市にも出店を続けてい

ます。
私は今、田原ゆの里のグループホームで職員さんのお世話になって、生活しています。時々、グループホームでお菓子作りをする時には、昔のことを思いながら懐かしい気持ちになっていきます。
これからも、日米堂をよろしくお願いたします。



日米堂の前で

各施設 TOPICS トピックス

夏の暑さは少し落ち着き始めましたが、新型コロナウイルスはまだまだ



落ち着かない中、少しでも利用者の皆さんに元気に笑顔になっていただこうと思い、9月8日に残暑会を開催しました。利用者さんの目の前で天ぷらを揚げ提供しました。職員が天ぷらを揚げていると、料理上手な利用者さんが「こうやってやると上手に揚げられるよ!」とほりきって手伝ってくれました。他の利用者さんも「揚げたてはやっぱり美味しいね」「いくらでも食べれるよ」などの声があり、とてもいい笑顔がたくさんみられました。

武豊町デイサービスセンター 砂川 天ぷら食べたよ!!

田原福寿園デイサービス 焼き芋会



急に肌寒くなり、秋を感じる事が多くなってきました。田原福寿園

デイサービスでは、一足早く焼き芋会を行いました。今年のさつま芋も大きく育ち、ほくほくで美味しいさつま芋を皆さんで頬張ることができました。温かい物が食べたいな。なんて思っていた度いいタイミングでした。「なかなか家ではやらんでね」「ここに来たら食べれるで得した気分」と皆さん満足していただけた様子でした。これからもっと寒くなってくるので、皆であたたかい鍋でもつきたいですね。

昭和の里デイサービスセンター 石巻山散策



10月12日からの一週間で石巻山散策ウィークとして、豊橋市のシンボルでもある石巻山へドライブに出かけました。中腹の記念碑前で記念撮影をした後は、さらに上まで車で登り展望エリアへ。豊橋市内を一望できるその眺めに、「40年ぶりに来たけどやっぱりここからの景色は素晴らしいなあ」「最近外に出る機会が少ないから、良い気分転換になったよ」と皆さん感動され、短い滞在時間ではありましたがいいリフレッシュとなりました。

みなみ福寿園

託児の子供たちとハッピーハロウィン!



毎年、託児所(ひまわりキッズ)を利用して子どもたちがみなみ福寿園を訪れて、お年寄りとの交流するハロウィン。今年はコロナウイルス感染予防のため、施設に来て行うことはできませんでした。そこで、職員が託児所を訪れ、駐車場でミニハロウィンパーティーを行いました。子供たちは思い思いの衣装で仮装をして現れ、お菓子をもらって大喜び。職員によるバルーンアートも大好評で、笑顔いっぱいハッピーハロウィンになりました。来年は、子供たちが施設に来てお年寄りとのふれ合い、みんなの笑顔があふれるハロウィンになりますように。

ひまわり邸

秋の味覚祭

空には雲一つない、気持ちの良い秋晴れの中、秋の味覚祭を開催しました。

メインは旬のさんまの炭火焼き。

他にもきのこのホイル焼きや芋煮、松茸ご飯や栗ご飯、新米など、秋の味覚が盛りだくさん。入居者も芋煮の鍋の番などで大活躍です。焼きたてのさんまは格別のおいしさで、「こんな気持ちの良い日は外で食べなきゃ損だよ」と、三密に配慮しながら青空の下でお腹いっぱいいただきました。昼食会の後は甘い安納芋を焼き芋にしました。「おなかいっぱいだけで美味しいわ」と、食欲の秋を満喫した一日となりました。



渥美デイサービス

畑作業はお手の物



畑ができて、三年目。スイカに茄子、じゃがいもなど、たくさん野菜を育ててきました。去年の冬は立派なキャベツが収穫できたので、今年はブロッコリーと大根にチャレンジ!

鍬を持ち、畝作りもお手の物。大根は種を植えて、数日のうちに芽がでてきました。少しずつ大きくなる芽を見るのがデイサービスに来た時の日課になり、「漬け物がいいかな?」など、大きくなったらどう調理して食べようか、今から楽しみにしています。

グループホーム田原ゆの里

おはぎ作り

秋のお彼岸ということで、グループホームでは、あんこときなこ二種類の、おはぎ作りをしました。皆さん、慣れた手つきであんこをつけれ、昔話に花が咲き、「ぼた餅とも言うだよ、お彼岸には仏様に、お供えをしたよ」、「祝い事や孫の運動会にも作って持って行ったよ。懐かしいね」と、楽しそうにされています。出来立てのおはぎは、あんこたっぷり、皆さん大満足でした。



デイサービスきぬうら

中庭大変身!

デイサービスきぬうらには長年手付かずだった中庭があります。ドクダミの葉が生い茂り、一部の土の中には瓦が敷き詰められていたりと荒れ放題で、年に数回ドクダミの葉を抜くので精一杯でした。しかし、新型コロナウイルスの流行により外出もできないうちで、何か楽しみは作れないか。そこで、デイサービスの中心に位置する中庭で、植物や生き物を飼えないかとみんなで奮起。ガーデニングが得意なパート職員を中心に、時間を作りながら大改造に着手しま



した。全体のベースが完成し、これからは季節の植物を利用者さんと育てたり、メダカなどを育てていきたいと思っています。



ひまわりの街地域包括支援センター 歩け歩け大会

第一回目の歩け歩け大会を開催しました。

新型コロナウイルスの影響で、毎月行っていた「いきいき健康教室」の開催ができないこともあり、地域の方の健康のために何かできないかと、10月から12月の3回コースで今回の計画を立てました。

休憩先ではオカリナボランティアさんの素敵な音色に癒され、参加された地域の方からは、「コロナで家にいるばかりで太っちゃったの。楽しく運動できてよかったわ」と満足していただけた様子でした。

次回も参加者の皆さんと楽しく運動しながら、職員も一緒にコロナ太り解消をしていきたいと思います！

花の里 大相撲星取り予想表彰式



相撲好きの皆さんが、九月場所も、熱心に星取りの予想を立てて競い合われました。前回、星取り予想で3位入賞された入居者の方からは「次こそは優勝するぞ」との強い意気込みが聞かれ、宣言通り九月場所では見事優勝されました。表彰式では、少し照れながらも誇らしげに賞状を手に入れました。

星取り予想では日毎にトップ賞も贈らせてもらっていますが、十日目にはなんと7名の方が同列トップ賞となり、普段よりも多くの方が賞品のお菓子を手にされ、笑顔が溢れていました。

東海福寿園 分身ロボットで会話を

利用者の余暇活動充実、孤独感の解消を目的に、「コミュニケーション能力豊かな分身ロボット「Orinon」を導入しました。このロボットは、自宅で生活している障がい者の方が遠隔で顔や腕を動かすことで、利用者と生の会話を楽しむことができます。導入に当たって、「寝たきり社長」で知られる



佐藤仙務様にご相談し、佐藤様は会社でロボットの代理店になってもらうこと、コミュニケーションを図る障がい者の方のコーディネートを実現しました。利用者からは、「話を聞いてもらえて嬉しい、次はどんな話しようか楽しみ」との声をもらいました。このロボット導入により、他にも障がい者の社会参加、働く権利の保障、先進的職場としての魅力アップ等の効果につながることを期待しています。

豊田福寿園デイサービス 秋の笑運動会!

「本番はいつですか?」と、赤白の玉を手作りしながら楽しみにしていただいていた「秋の笑運動会!」。開会の言葉から始まり、国歌斉唱、選手宣誓を行い、ラジオ体操で準備もばっちりスタートしました。「入るかな」「投げられるかな」と話していた方も、よいどん!の号令を聞くと真剣そのものです。「疲れたけど、楽しかったー!!」これからの寒さを吹き飛ばす満面の笑顔を、笑運動会でたくさん見せてくださいました。



養護首席寿園

田原中部小学校交流会

地元の田原パシフィックロータリークラブの奉仕事業の一環で、田原中部小学校交流会へ参加させていただきました。

当日は古田常務理事もロータリークラブの委員として同行し、児童とのふれあいやリコーダーの演奏・合唱を聞きながら、皆さん和やかに交流会を楽しんでいました。参加した入所者の方に、同校に先生として勤務していた方もおられ、「校舎に懐かしさを感じながら、元気な子供たちを見て大変嬉しく思いました」と昔を思い出しながら、交流会参加を喜んでいました。



ケアハウスパシフィック

お誕生日会 素敵な演奏を



8・9月の誕生日会を開きました。コロナ禍でなかなか出かけることができないため、茶つぼ亭に飾り付けを行い、誕生者を職員のウクレレ演奏でお祝いしました。

少しでも入居者の方に喜んでいただけるように、数週間かけて、血がにじむ(笑)練習を重ねての披露となりました。「お誕生日の歌」や「ふるさと」を演奏をし、皆さんと一緒に歌いました。参加された皆さんから「こんな小さい楽器があるんだね」「初めて聞いた音だ!」などの声もきかれ、笑顔いっぱい楽しい時間を過ごしていただけたようです。今後手作りではありますが、温かみのあるものを続けていきたいと思えます。

武豊福寿園ショートステイ

みんなで仮装!! 一足お先にハロウィン

ショートステイでハロウィンパーティを開催しました。職員はそれぞれ仮装衣装を用意し、利用者様にもハロウィン気分を味わっていただくため、かわいいカチューシャをつけてもらいました。おやつにはホイップクリームで思い思いの絵を描いたパンフキンケーキを作り、皆さんでおいしくいただきました。一足早いですが、ハロウィンパーティを楽しむことができました。



ちた福寿園 敬老を祝う会

敬老を祝う会を開催しました。今回は、一堂に会するのを避け、皆さんの生活の場にお邪魔しての表彰式となりました。



表彰式の後には、職員によるウクレレや余興を披露しました。昔懐かしのお笑いソングから歌謡曲までの演奏会や、当時の映画俳優の話や撮影のロケ地に旅行した話等、皆さんの思い出を聞かれ、とっても

アットホームな時間を過ごすことができました。なかなか外出できず、寂しい思いをする方も多い中、こうして皆さんの長寿を祝って、賑やかに過ごせたことがとても嬉しかった一日でした。来年の祝賀会にも呼んでいただく約束をして、「これからも?」「上を向いて歩こう!」と、ラストソングで幕を閉じたのでした。

新入職員第二次研修会

8月31日に新入職員第二次研修会を開催しました。コロナ禍の感染予防対策として、東三河、豊田、知多の各地区に会場を分散しました。

午前中はオンラインにより理事長、常務理事等による講義を中継し、午後からは各地区職員による生講義を行いました。職員としての自覚、介護のコミュニケーション、多文化共生、認知症の理解、介護保険と内容も幅広いカリキュラムです。

研修報告書からは「相手の気持ちに寄り添える仕事をしたい」「先輩に追いつけるようになりたい」「オンライン講義が新鮮だった」といった感想があり、今年度の新入職員はコロナによるさまざまな制約が多い中ですが、前向きに頑張ってくれています。



田原福祉グローバル専門学校 学食カフェ起工式



9月10日、豪雨と雷鳴が轟くなか、田原福祉グローバル専門学校（現田原福祉専門学校）学食カフェの起工式をとり行いました。

学食カフェでは福寿園の食のノウハウを取り入れ、栄養バランスのとれた美味しい食事をとることができます。また、一般にも開放し、地域の方にも気軽にお越しいただけるカフェとして来年4月にオープンを予定しております。地元成章高校とのコラボスイーツも現在企画中です。皆さまのお越しをお待ちしております。

ピアノ・置き時計 寄贈

本部・田原福寿園

法人創立40周年、並びに田原福寿園本館建替え竣工を記念して、法人職員一同よりピアノと置き時計が寄贈されました。

ピアノは5階ラウンジ「空色」に設置され、景色を楽しみながら、自動演奏によるピアノの音色を楽しむことができます。置き時計は1階エントランスホールに設置され、来園者をお迎えします。

40年という節目を迎え、これからの刻を、豊かに幸せに過ごしてもらいたいという、そんな想いが込められています。



今岡雄大さん（豊田福寿園・介護職員）と高山綾さん（ひまわり邸・介護副主任）が入籍されました。
未永くお幸せに♡

福寿園ゆめ音頭PV YouTube開設



法人創立40周年記念事業の一つ、福寿園がオリジナルで制作した『福寿園ゆめ音頭』のPV(紹介用動画)が完成しました。利用者さんや職員みんな、コロナに十分気をつけながら作りました。お年寄りを囲みながら、笑顔で楽しく踊る職員の姿をご覧ください。

下記QRコードからYouTubeでご覧いただけます。または、YouTubeで『福寿園ゆめ音頭』と検索してください。

ぜひ、来年は皆さんと一緒に踊れたらと願っております。

ちゃんねる登録も
よろしくね!



福寿園では、現在71名(フィリピン人 63名、ベトナム人 7名、インドネシア人 1名)の外国人介護士が各施設に分かれて働いています。毎号一人ずつ紹介します。

連載 外国人介護士 リレーインタビュー

- Q** 日本に行こうと思い始めたのは何歳の時ですか?
A 子供の頃です。大学生の時、日本は安全できれいな国と聞いて、お姉さん達もいるので日本に行こうかなと思いました。
- Q** 日本とフィリピンで生活環境の違うところはありますか?
A あります。日本ではラーメンや蕎麦など音を出して、すすりながら食べるが、フィリピンは音を立てずに静かに食べます。
- Q** 日本に来て一番心に残る思い出は何ですか?
A 両親が日本に来た時です。両親と一緒に京都、大阪に旅行に行き、美しい景色と一緒に観て写真をたくさん撮ったことです。また一緒にいきたいです。
- Q** 日本の食べ物(飲み物)で好きなものは何ですか?
A ラーメン、寿司、焼き肉、焼きそば、施設(くすのきの里)の豚汁、昭和の里のパン全般。
- Q** 好きな言葉は何ですか?
A 「ありがとうございます」「お疲れ様です」「家族」「頂きます」「ご馳走様でした」
- Q** 今、一番強く願うことは何ですか?
A 家族に会いたい。両親がいつも健康に過ごせますように。



エスピサ マニリン ダルト
ニックネーム
マニリン
くすのきの里



New ひまわり ギャラリ

入居者・利用者さんの作品を
ご紹介いたします。

作品 **「むかしの豊田市」**

グループホームひまわり邸
入居者の皆さん

昭和の豊田市駅周辺の街並みを製作しました。
思い出話に花が咲き、完成後喜びを分かち合うことができました。



令和2年11月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
 ■理事長/山田浩三 <https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。